

1. 研修テーマ

『データの見方を“味方”にできる保健師を育てる-事業化・施策化につながる基礎教育の極意-』

2. 研修のねらい

保健師は地区活動を通して、人々の生活の実態や地域特性、地域資源・地域の人材を把握しており、これらを事業化・施策化に活かすことが期待されています。また、2020年に改正された保健師助産師看護師学校養成所指定規則において「保健医療福祉行政論」が3単位から4単位に変更されたのは、疫学データや保健統計等を活用した地域アセスメント力の強化と、施策化を含む政策形成過程に関する演習の充実を図るためでした。本研修では、保健師が入手した量的・質的データから何を読み取り、どのように根拠資料を作成して事業化・施策化につなげていくのかについて、基礎教育で教える方法やポイントを共有することを目的とします。あわせて、特別区で区民を主体とし、関係機関と連携しながら糖尿病アクションプランを推進してきた実践を通して、「個」から「集団・地域」へとつなぐ教育の工夫や、基礎教育に活かせる具体的な示唆を得ることをねらいとしています。

3. プログラム

テーマ1) データの見方は保健師の“味方”～データを活用した保健活動の展開

講師:武蔵野大学看護学部看護学科 学部長・教授 中板 育美氏

テーマ2) 健康あだち21推進事業(糖尿病対策)の実践から学ぶ事業化・施策化のプロセスとその評価

講師:足立区衛生部長(保健師) 馬場 優子氏

質疑応答とディスカッション)事業化・施策化の能力向上を目指す基礎教育の方法について、各自治体の現任教育の工夫や保健師基礎教育機関における教育の実際について共有し、今後の課題を検討する。

- 主 催 :一般社団法人 全国保健師教育機関協議会
場 所 :京王プラザホテル南館4階
※定員 先着200名 現地開催+オンデマンド配信(会員校と賛助会員のみ視聴可能)
日 時 :2026年10月28日(水)15時30分から17時00分
実行委員長 :帝京科学大学 糸井 和佳
参加資格 :全国保健師教育機関協議会の会員校教員および、保健師教育に関心のある方
研修参加費
・教員 会員校、賛助会員 無 料
・教員 非会員校 1人 5,000 円
・関係者 5,000 円
・現任保健師 無 料
・会員校大学院生 無 料(現任教員を除く)
申込期限 :登録 2026年10月21日(水) ※当日参加も可能です。
申込方法 ④申込方法はおひとりずつのオンライン登録といたします。修了証発行希望の方は、申込時に申請してください。修了証は、現地参加を確認できた方のみ発行します。

Step1: 参加登録
お早めをお願いします

7月下旬以降、全保教ホームページ:研修会ページより、オンライン事前参加登録システムにアクセスいただき、お名前・メールアドレス・ご所属などをおひとりずつご登録ください。

Step2: 費用送金
締切 10/21(水)

非会員校の教員、関係者の方は画面の案内に従って銀行振込またはクレジットカードにより参加費をご入金ください。なお、クレジットカードをご利用の場合は参加登録と合わせて決済となりますので、お手元にクレジットカードをご用意の上ご登録ください。

④当日欠席による参加費の払い戻しは致しかねますので、予めご了承ください。

4. 問合せ先 全保教研修会等担当 〒456-0005 名古屋市熱田区池内町3-21 株式会社ユピア内
メール zenhokyo_semi@yupia.net ④件名に「秋季教員研修会」をつけてください。